

ESG開示スコアとパフォーマンス

湯山 智教 CMA
白須 洋子
森平 爽一郎

目 次

- | | |
|----------------------|--------------|
| 1. はじめに | 4. 実証分析 |
| 2. 内外の先行研究レビュー及び仮説設定 | 5. 考察と残された課題 |
| 3. 分析方法の検討 | |

受託者責任を有する投資家にとって、ESG投資を行うに際し、その投資パフォーマンスが重要である。本稿では、ESG情報開示に積極的な企業への投資をESG投資と捉え、その投資パフォーマンスを分析した。ファクター・モデル、傾向スコアマッチングなどの手法を用いて検証し、ESG情報開示と株式リターンとの関係は、必ずしも有意にポジティブとも言えないが、マイナスとも言えないことを示した。ただし、2017年には有意にプラスとなった。なお、本稿は本文と補論で構成されており、詳細を補論で述べている部分については本文中に注が付けられている。



湯山 智教 (ゆやま とものり)

東京大学公共政策大学院特任教授。早稲田大学大学院修了、博士（商学）。慶應義塾大学大学院修了、修士（政策メディア）。三菱総合研究所、金融庁（監督局、証券監視委事務局、日本銀行金融市場局、財務省理財局など）を経て現職。最近の著書などに『金融資本市場のフロンティア』（共編著、中央経済社、2019年）、「リスクプレミアムを勘案した市場における期待インフレ率の抽出に関する実証分析」（共著、現代ファイナンス No.39、2017年）。



白須 洋子 (しらす ようこ)

青山学院大学経済学部教授。横浜国立大学大学院国際社会科学研究所博士後期課程修了、博士（経済学）。住宅金融公庫、金融庁金融研究センター研究官、青山学院大学准教授などを経て現職。2008～10年金融庁金融研究センター特別研究員、京都大学客員准教授、10～16年京都大学客員教授、17～18年カリフォルニア大学バークレー校客員研究員。日本ファイナンス学会理事、日本保険・年金リスク学会理事。



森平 爽一郎 (もりだいら そういちろう)

慶應義塾大学名誉教授。テキサス大学オースチン校経営大学院修了、Ph.D.（ファイナンス）。福島大学経済学部助教授、慶應義塾大学総合政策学部教授、早稲田大学大学院ファイナンス研究科教授、日本保険・年金リスク学会会長などを歴任。最近の著書に『経済・ファイナンスのためのカルマンフィルター入門』（朝倉書店、2019年）、『EViewsで学ぶ応用ファイナンス』（共著、日本評論社、2019年）など。